

FUND  
REPORT

## 足元の運用状況と今後の運用方針

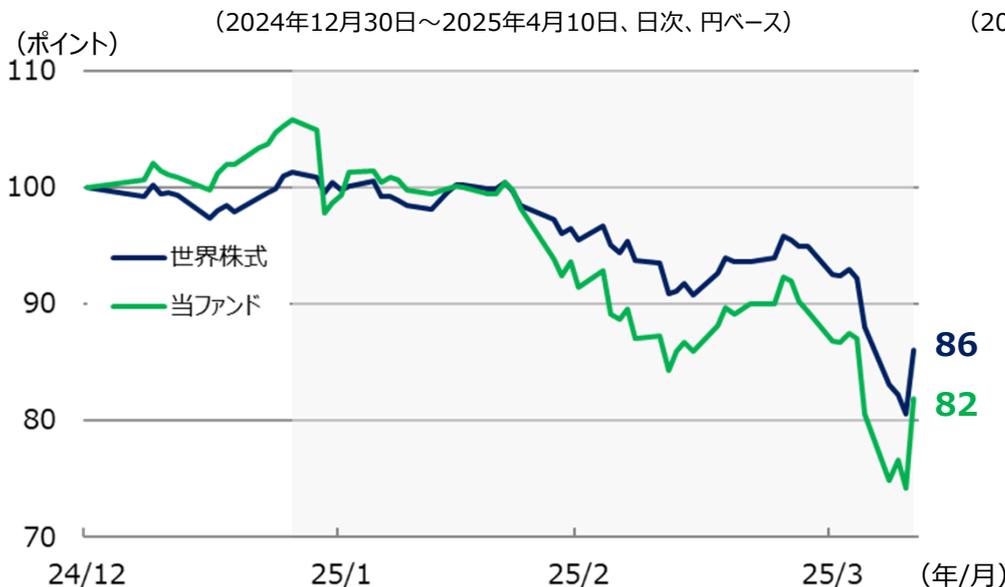
## イノベティブ・カーボンニュートラル戦略ファンド

平素より「イノベティブ・カーボンニュートラル戦略ファンド」(以下、当ファンド)をご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。本資料では、当ファンドの実質的な運用を担当するヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー(以下、ヴォヤIM)からの情報を基に2025年4月2日に公表された米国の「相互関税」導入の概要に加えて、足元の状況と今後の見通しについてご報告いたします。

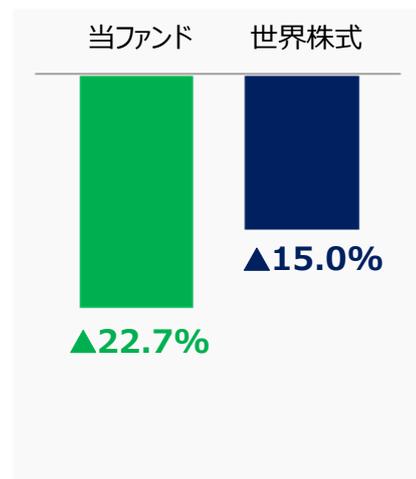
## 当ファンドのパフォーマンス

- 2025年の当ファンドの基準価額は1月24日に年初来高値を付けましたが、4月10日に同高値から22.7%下落した水準となりました。トランプ政権の関税政策に対する不確実性の拡大、世界の経済成長の鈍化懸念などにより、投資家のリスク回避姿勢が強まったことが要因となりました。
- 4月9日、トランプ大統領の相互関税を一部の国において90日間停止すると発表を受け、株式市場は急騰しましたが、関税政策を巡る不透明感が残るため、ボラティリティの高い展開は続くとみられます。

## 当ファンドの基準価額と指数の推移および騰落率



(2025年1月24日～2025年4月10日、円ベース)



\* 2024年12月末を100として指数化。

(注1) 基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後。2025年4月10日現在で分配を行っておりません。

(注2) 世界株式はMSCI ACWI (配当込み) の円換算値。同指数は当ファンドのベンチマークではありません。

(注3) 世界株式の円換算値の指数化にあたっては、基準価額算出方法に沿って、外貨建て資産は前日(休日の場合は、その直近の最終取引日)の価格を、為替レートは当日のレートを使用しています。

(注4) 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

(出所) Bloomberg

※ 上記は過去の実績であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

※ ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは7ページをご覧ください。

## マイナス寄与の大きかった主な組入銘柄

- 基準価額（2025年1月24日～4月10日）にマイナス寄与の大きかった主な組入銘柄およびその要因等は以下のとおりです。

### コンステレーション・エナジー

ディープシーク・ショックなどにより、AIデータ・センター投資の持続性について懸念が高まったことや、トランプ大統領の関税政策に関する不透明感により株価が下落しました。**長期的には、AIやデジタル・インフラによる電力需要の増加の恩恵を享受するとみています。**

### プリスマン

同社が発表した2028年までの経営目標が、市場参加者の期待に応えられなかったため株価が下落しました。**同社はエネルギーおよび通信分野で使用される電気ケーブルのイノベーションを通じて、長期的なエネルギー移行を支える重要な企業**であると考えています。

### 日立製作所

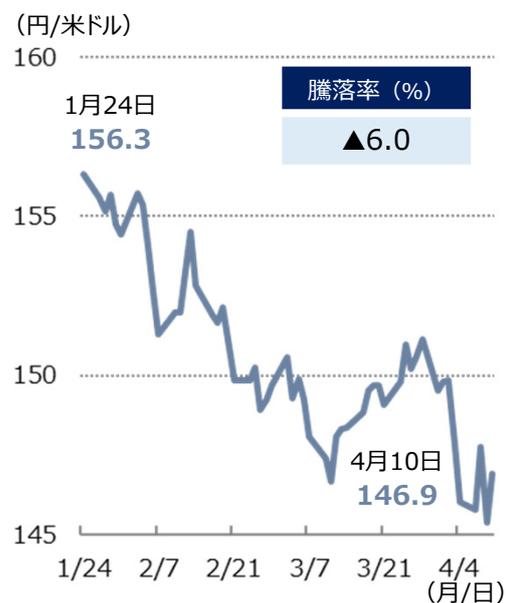
マクロ経済環境の先行き不透明感やトランプ大統領の関税政策の影響により、データ・センター関連の需要低下懸念などから株価が下落しました。**同社は革新的な解決策を用いてエネルギー転換や電力網の最新化に対応しており、長期的に恩恵を享受していく競争力を有しているとみています。**

## 組入上位10銘柄の騰落率と為替レートの推移

(2025年1月23日～2025年4月9日)

(2025年1月24日～2025年4月10日)

組入順位	銘柄名	国・地域	業種	組入比率 (%)	騰落率 (%)
1	クアンタ・サービーズ	米国	資本財・サービス	4.3	-24.0
2	ベーカー・ヒューズ	米国	エネルギー	3.5	-14.7
3	コンステレーション・エナジー	米国	公益事業	3.5	-37.7
4	ブロードコム	米国	情報技術	3.2	-22.7
5	GEベルノバ	米国	資本財・サービス	3.0	-25.3
6	シェニール・エナジー	米国	エネルギー	2.9	-6.8
7	プリスマン	イタリア	資本財・サービス	2.7	-43.4
8	日立製作所	日本	資本財・サービス	2.7	-19.5
9	ネクストラッカー	米国	資本財・サービス	2.7	-6.3
10	トヨタ自動車	日本	一般消費財・サービス	2.4	-10.1



(注1) 組入比率は1月24日時点、マザーファンドの純資産総額を100%として計算した値です。  
 (注2) 騰落率は現地通貨ベース。日立製作所、トヨタ自動車の騰落率は1月24日～4月10日。  
 (注3) 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類。  
 (出所) ウォイヤIM、Bloomberg

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

※上記は2025年1月24日現在におけるマザーファンドの組入銘柄であり、当該銘柄を今後も保有するとは限りません。また、当該銘柄を推奨するものではありません。

※上記は過去の実績、当資料作成時点の見通しおよび運用方針であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。見通しおよび運用方針は今後、予告なく変更する場合があります。

## 米国の「相互関税」導入による影響について

- 2025年4月2日、トランプ米大統領は世界各国・地域から米国に輸入されるすべての製品に対し、**一律10%の関税を課す**ことを公表しました。また、貿易相手国・地域の関税率や非関税障壁を踏まえた**「相互関税」の導入も発表**しました。
- 一律10%の輸入関税は4月5日に実施されました。**相互関税に関しては、発動予定日の4月9日に一転し、問題の解決に向けて協議を求めている国・地域に対しては90日間停止**するとの発表を行いました。各国・地域との交渉次第で緩和方向に修正される可能性も想定されます。
- 今後、グローバルな供給網を持つ企業や、米国に製品等を輸出する企業が特に影響を受ける可能性があります。当ファンドは**情勢の変化にあわせて、影響を受ける可能性がある太陽光発電、電気自動車、サプライチェーン分野への投資ウエイトを調整**してきました。

## 今後の運用方針

- 短期的には、ボラティリティの高い状況が継続するとみっていますが、多くの不確実性が株価に織り込まれつつあると考えています。今後、トランプ政権の政策がより明確になり、その不確実性が低減していけば、株式市場の値動きは安定化していくものと思われれます。そうしたなか、トランプ大統領は米国が技術革新においてリードしている現状を維持、発展していきたいと考えているとみられ、技術革新に概ね肯定的な政策をとることが考えられます。今後の規制緩和等によってテクノロジー投資やインフラ建設、資本市場がより活発化されると期待されます。
- 世界株式市場が下落するなか、**業績や成長期待等と比較して、売られ過ぎた銘柄への投資機会を捉えつつ、確信度の高い銘柄を機動的に組み入れることで、収益機会の獲得を目指して**いきます。
- 引き続き、**複雑な環境を乗り越えられる銘柄の選定を徹底し、脱炭素化の実現に貢献するイノベティブな企業からなるポートフォリオを維持**していきます。

## 基準価額等の推移 (2021年3月30日 (設定日) ~2025年4月10日)



(注) 基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後。2025年4月10日現在で分配を行っておりません。  
 ※上記は過去の実績、当資料作成時点の見直しおよび運用方針であり、当ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。  
 見直しおよび運用方針は今後、予告なく変更する場合があります。  
 ※ファンド購入時には、購入時手数料がかかる場合があります。また、換金時にも費用・税金などがかかる場合があります。詳しくは7ページをご覧ください。

## ファンドの特色

1. イノベティブ・カーボンニュートラル戦略マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）への投資を通じて、世界の取引所に上場している株式から、主として脱炭素化社会実現に向けた取り組みやイノベーションに貢献する企業、あるいはその恩恵を受けることが期待される企業の株式に投資を行います。
  - 預託証券（DR）、上場投資信託証券にも投資を行う場合があります。
  - 企業の成長見通し、財務健全性、バリュエーション等の分析・評価を行い、銘柄選択を行います。
2. テクノロジー・イノベーションとグリーン・エネルギーに関連する企業の投資戦略に強みをもつ、ヴォヤ・インベストメント・マネジмент・カンパニー・エルエルシーが実質的な運用を行います。
  - マザーファンドの運用にあたっては、ヴォヤ・インベストメント・マネジмент・カンパニー・エルエルシーに運用の指図に関する権限の一部を委託します。
3. 実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行いません。
  - 基準価額は為替変動の影響を受けます。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

※ ファンドは、委託会社が定義する「ESG投信」に該当します。

委託会社は、「投資判断におけるサステナビリティ要素の考慮の手法」と「運用戦略におけるサステナビリティ要素の重要度」を基に、サステナブルプロダクトを認定し、このうち、「ポジティブスクリーニング」、「ESGテーマ型」および「インパクト」に分類したファンドを「ESGプロダクト（ESG投信）」と定義しています。

ファンドの運用戦略は、特定のサステナビリティ課題・テーマを設定し、それらに貢献する企業等を投資対象としている「ESGテーマ型」に分類されると委託会社が認定しており、「ESG投信」に該当します。

委託会社におけるESG投信の定義および該当ファンドは、ESG投信の規制動向、ESGに関する国内外の情勢、委託会社の認定基準の見直し等により、今後、変更となる場合があります。

委託会社のサステナブルプロダクト認定基準およびモニタリング状況については、以下をご覧ください。

<サステナブルプロダクト認定基準>

[https://www.smd-am.co.jp/corporate/responsible\\_investment/esg/integration/table/](https://www.smd-am.co.jp/corporate/responsible_investment/esg/integration/table/)

<モニタリング状況>

[https://www.smd-am.co.jp/corporate/responsible\\_investment/esg/integration/table/pdf/esg\\_product\\_monitor.pdf](https://www.smd-am.co.jp/corporate/responsible_investment/esg/integration/table/pdf/esg_product_monitor.pdf)

## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

### ■ 株式市場リスク

【株価の下落は、基準価額の下落要因です】

内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、株価が下落した場合はファンドの基準価額が下落する要因となります。

## 投資リスク

## ■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】

ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

## ■ 為替変動リスク

【円高は基準価額の下落要因です】

外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

## ■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】

海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

## ■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】

有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

## その他の留意点

【分配金に関する留意事項】

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- ファンドは、特定のESGテーマに絞った銘柄選定を行いますので、市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なることがあります。また、市場環境、金利および経済・法制度・金融面の諸情勢が、特定のESGテーマに対して著しい影響を及ぼすことがあります。当該ESGテーマに属する銘柄は、これらの情勢等に対して同様の反応を示すことがあります。
- ESG投資は、銘柄選定プロセス等において、ESG評価提供機関等が提供する各種データを利用する場合があります。当該データは、有価証券の発行体による情報開示に依存していることが多く、データの即時性、完全性、比較可能性は保証されていません。また、提供機関ごとにデータ収集方法・評価方法等が異なるため、同一発行体に対するESG評価が大きく異なる場合があります。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受け付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

**お申込みメモ****購入単位**

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

**購入価額**

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

**購入代金**

販売会社の定める期日までにお支払いください。

**換金単位**

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

**換金価額**

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

**換金代金**

原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。

**信託期間**

無期限（2021年3月30日設定）

**決算日**

毎年4月7日（休業日の場合は翌営業日）

**収益分配**

決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

**課税関係**

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。
- 当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

**お申込不可日**

以下のいずれかに当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ニューヨークの取引所の休業日
- ニューヨークの銀行の休業日

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料  
購入価額に3.30% (税抜き3.00%) を上限として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額  
ありません。

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）  
ファンドの純資産総額に年1.925% (税抜き1.75%)の率を乗じた額です。
  - その他の費用・手数料  
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
    - 監査法人等に支払われるファンドの監査費用
    - 有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
    - 資産を外国で保管する場合の費用 等
 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
- ※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 税金

### 分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

### 換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
- ※ 少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合  
少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」は、少額上場株式等に関する非課税制度であり、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。  
ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした公募株式投資信託等を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

## 委託会社・その他の関係法人等

委託会社	<p>ファンドの運用の指図等を行います。</p> <p>三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号</p> <p>加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会</p> <p>ホームページ： <a href="https://www.smd-am.co.jp">https://www.smd-am.co.jp</a></p> <p>コールセンター： 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）</p>
受託会社	<p>ファンドの財産の保管および管理等を行います。</p> <p>株式会社SMBC信託銀行</p>
販売会社	<p>ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。</p>
投資顧問会社	<p>マザーファンドの運用指図に関する権限の一部の委託を受け、信託財産の運用を行います。</p> <p>ヴォヤ・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー</p>

## 販売会社

販売会社名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本投資顧問業協会	金融先物取引業協会	一般社団法人 投資信託協会	備考
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○		○	○		
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○		
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○		○		
ぐんぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2938号	○					
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第6号	○					
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○		
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○		
むさし証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第105号	○	○				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○		
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第43号	○			○		
株式会社イオン銀行（仲介）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○					※1
株式会社京葉銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第56号	○					
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第7号	○			○		
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第2号	○			○		
株式会社東京スター銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第579号	○			○		
株式会社東和銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第60号	○					
株式会社徳島大正銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第10号	○					
株式会社鳥取銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第3号	○					
株式会社名古屋銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第19号	○					
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長（登金）第5号	○			○		
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第3号	○			○		※2
株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長（登金）第1号	○			○		※2
アルプス中央信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第251号						
大垣西濃信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第29号						
北伊勢上野信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第34号						
京都中央信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第53号	○					
京都北都信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第54号						
呉信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第25号						
佐賀信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第25号						
白河信用金庫	登録金融機関	東北財務局長（登金）第36号						
静岡信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第43号						

## 備考欄について

※1：委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社※2：ネット専用

## 販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本一般社団法人 投資顧問業協会	金融一般社団法人 先物取引業協会	一般社団法人 投資信託協会	備考
高松信用金庫	登録金融機関	四国財務局長（登金）第20号					
但馬信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第67号					
多摩信用金庫	登録金融機関	関東財務局長（登金）第169号	○				
東濃信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第53号	○				
豊田信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第55号	○				
浜松磐田信用金庫	登録金融機関	東海財務局長（登金）第61号					
兵庫信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第81号	○				
福岡ひびき信用金庫	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第24号	○				
福島信用金庫	登録金融機関	東北財務局長（登金）第50号					
大和信用金庫	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第88号	○				

## 重要な注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

作成基準日：2025年4月10日